



FD（ファカルティ・ディベロップメント）とは、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称です。本学では、授業アンケート、FD講演会など、各種FD活動を実施しています。

今回は、2025年度活動実施内容等についてお届けします。

『FDニュースレター』は、年次報告として、FDに関する情報を取り纏め、情報を共有することにより、それぞれの活動を組織的な活動へと発展させるための一助として発行しています。

2025年度 活動実施報告

FD講演会等の実施

☆全学教員協議会	2025年5月31日
☆全学FD研修会（春学期）	2025年7月19日
☆全学FD研修会（秋学期）	2026年2月28日
☆大学院FD研修会	
国際日本学研究科	2026年1月22日
国際政治経済学研究科	2026年2月25日
文学研究科	2026年3月 3日

新規採用教員説明会

☆新任教員に対し、本学の建学の理念や教育研究に対する考え方、ディプロマポリシーの説明等、本学の教員として必要な事柄等に関する説明会を4月1日に実施しました。

公開授業

☆公開授業を実施しました。
「英語4技能B（中級）」

各種FD活動の報告

- ☆教職課程センター打合せ（計7回実施）
- ☆文学部基礎ゼミFD
- ☆国際日本・中国学科 書道専攻 科目担当者間FD
- ☆中国語教員による情報交換会
- ☆英語教育FD
- ☆国際政治経済学部基礎ゼミFD

学生による授業アンケート(Web形式)

☆ 春学期：2025年7月7日-7月19日
秋学期：2025年12月17日-2026年1月14日
全学年を対象にUNIPA Webアンケート形式にて実施しました。

全学FD研修会

○2025年度秋学期FD研修会

2026年2月27日（金）開催 教職員83名参加(オンライン参加含む)

1. 報告：「研究倫理について」 大学改革・IR推進課
2. 報告：「授業における聴覚障害のある学生への情報保証について」 学生支援課・学生3名
3. 講演：「大学における障がい学生への理解と支援の実際
～合理的配慮提供における“よくある疑問”とその検討を通して～」
林 潤一郎 氏（公認心理師・臨床心理士）
成蹊大学 学生サポートセンター（学生相談室）専任カウンセラー
兼 経営学部（心理学担当）教授

1. 「研究倫理について」では、小沢大学改革・IR推進課長から研究倫理に関する本学規程や他大学の不正事例について報告がありました。

2. 「授業における聴覚障害のある学生への情報保障について」では、聴覚障害がある学生3名が登壇し、日々の大学生活や講義の中で直面している課題等について、当事者の視点から実体験を交えての発表がありました。

学生たちからは、講義や課題に取り組む際の具体的な困りごとと共に、今後大学や教職員に期待する配慮や改善点についての要望が伝えられました。参加した教員からは、「当事者の生の声を聴くことで、今後必要な支援の具体像が明確になった」「動画を使用する際には、字幕付与などできる限りの対応を進めたい」「これまでの研修会の中で最も実践的で意義深い内容だった」といった感想が寄せられ、大学全体で授業のあり方を見直す有意義な発表となりました。



3. 続いて行われたFD講演では、昨年に引き続き成蹊大学 学生サポートセンター(学生相談室)専任カウンセラー兼経営学部教授であり、公認心理士・臨床心理士の林潤一郎氏を講師に迎え、「大学における障がい学生への理解と支援の実際～合理的配慮提供における“よくある疑問”とその検討を通して～」と題してご登壇いただきました。

講演では、合理的配慮をめぐる「よくある疑問」に焦点を当て、具体的な事例を交えながら、支援の基本理念と対応についての解説やグループワークが行われました。受講した教員からは、自身の体験を重ねたうえで、講義や学生との対応に活かしたいとの感想が多く寄せられました。

本学では、合理的配慮を必要とする学生の実態把握と対応をさらに進め、今後もより良い学修環境実現のための取り組みを推進してまいります。